



アリアケジャパン株式会社

# 2026年3月期 第3四半期 決 算 説 明 会 資 料

2026年2月6日

アリアケジャパン株式会社（証券コード2815）

## 第3四半期 決算のポイント

### □ 連結

増収、増益（為替中立でも増収、増益）単体、子会社とも増収、増益

売上高 対前年 +2.2% 営業利益 同 +7.2% 純利益 同 +14.6%

### □ 単体

増収、増益 売上高 対前年 +1.3% 営業利益 同 +5.7%

3Q売上高は対前年 +3.0%。3QはB2B2C製品が伸長。

### □ 子会社

増収、増益（為替中立では減収、増益）

売上高 対前年 +4.7%（中立 -1.3%） 営業利益 同 +11.2%（同 +4.9%）

景気低迷のアジア（中国、台湾）を欧洲の増収、増益でカバー。欧洲の利益改善進む。

### □ 2026年3月期計画（変更なし）

連結売上高：671億円 連結営業利益：122億円 連結営業利益率：18.2%

アジアの不調を欧洲で相殺、単体の下期における売上増により、計画達成を図る。

## 第3四半期 連結・単体業績一覧（対前年）

項目	実績	前年	前年増減	前年比
連結売上高	499.3	488.7	+10.6	+2.2%
連結営業利益	87.7	81.7	+5.9	+7.2%
連結経常利益	101.7	88.9	+12.7	+14.3%
連結純利益	68.9	60.1	+8.8	+14.6%
単体売上高	368.1	363.4	+4.7	+1.3%
単体営業利益	61.7	58.4	+3.3	+5.7%
単体経常利益	77.7	67.6	+10.1	+14.9%
単体純利益	54.0	47.4	+6.6	+14.0%

※単位は億円 四捨五入して記載

連結営業利益率17.6%	前年16.7%	+0.9p
単体営業利益率16.8%	前年16.1%	+0.7p

## 第3四半期 連結・単体業績一覧（対計画）

項目	実績	計画	計画増減	計画比
連結売上高	499.3	503.0	-3.7	-0.7%
連結営業利益	87.7	92.2	-4.5	-4.9%

項目	実績	計画	計画増減	計画比
単体売上高	368.1	370.8	-2.7	-0.7%
単体営業利益	61.7	64.4	-2.7	-4.2%

※単位は億円 四捨五入して記載

連結営業利益率17.6% 計画18.3% -0.7p  
 単体営業利益率16.8% 計画17.4% -0.6p

## 第3四半期 子会社業績一覧（対前年）

項目	実績	前年	前年増減	前年比(%)
売上高	131.2(123.7)	125.3	+5.9(-1.7)	+4.7(-1.3)
営業利益	25.9(24.5)	23.3	+2.6(+1.1)	+11.2(+4.9)

子会社営業利益率19.8% 前年18.6% +1.2p

※単位は億円 四捨五入して記載 ( ) は為替中立 海外子会社は2025年1～9月の業績

## [グループ別] 第3四半期 売上高 (対前年比較)

※子会社は連結調整後

(単位: 億円)

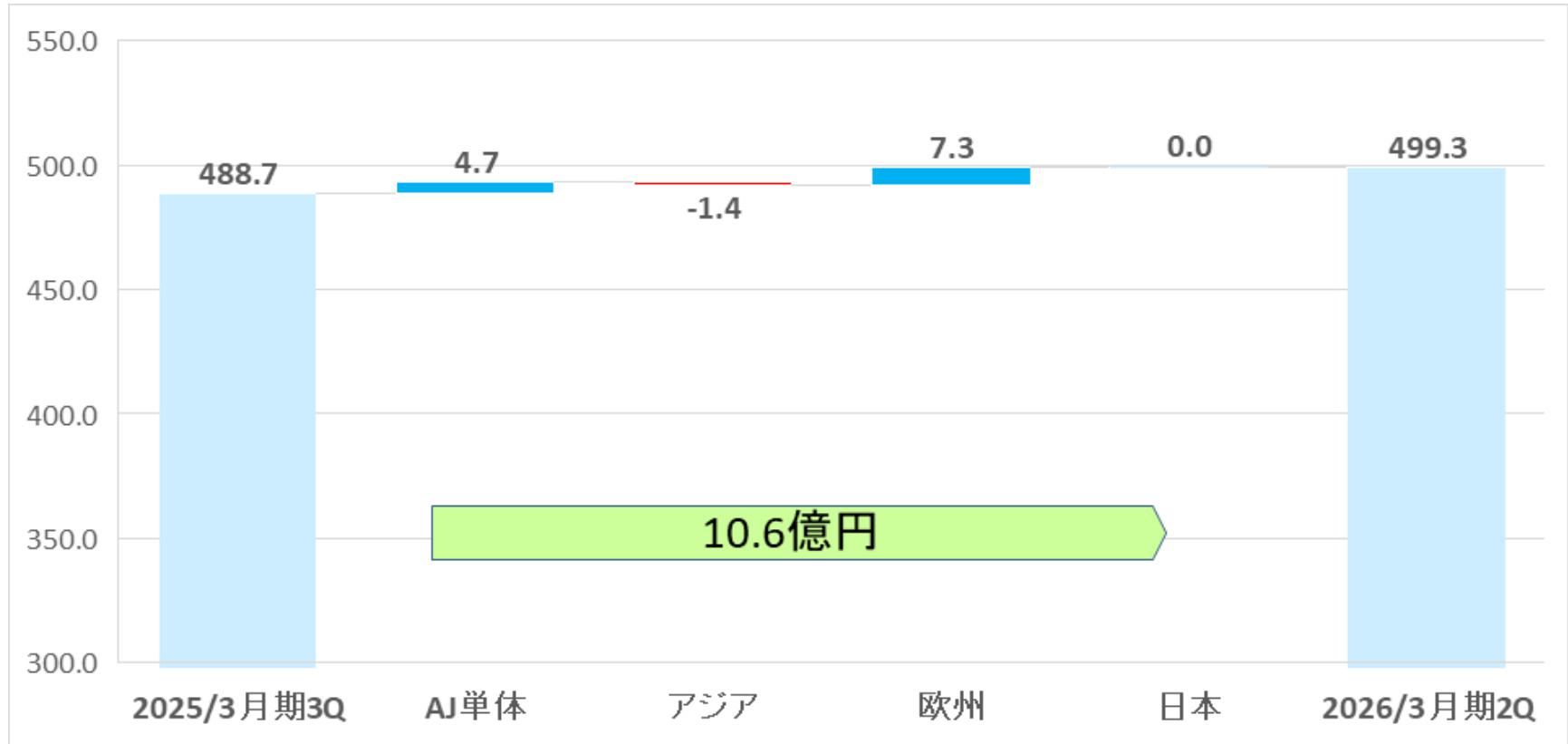
	2026/3期 3Q (A)	2025/3期 3Q (B)	増 減 (A-B)	%	為替中立
アリアケジャパン	368.1	363.4	4.7	1.3%	-
子会社 計 ※	131.2	125.3	5.9	4.7%	△ 1.3%
アジア	70.4	71.8	△ 1.4	△ 1.9%	△ 5.4%
欧 州	58.5	51.2	7.3	14.3%	4.4%
日 本	2.3	2.3	△ 0.0	△ 1.6%	-
連結	499.3	488.7	10.6	2.2%	0.6%

連結時の  
為替レート  
(9月末)

EUR	174.47	159.43	15.04
人民元	20.88	20.46	0.42
台湾ドル	4.88	4.51	0.37
ルピア	0.0090	0.0095	△ 0.0005

## [グループ別] 第3四半期 売上高 (対前年比較)

(単位: 億円)



## [グループ別] 第3四半期 営業利益 (対前年比較)

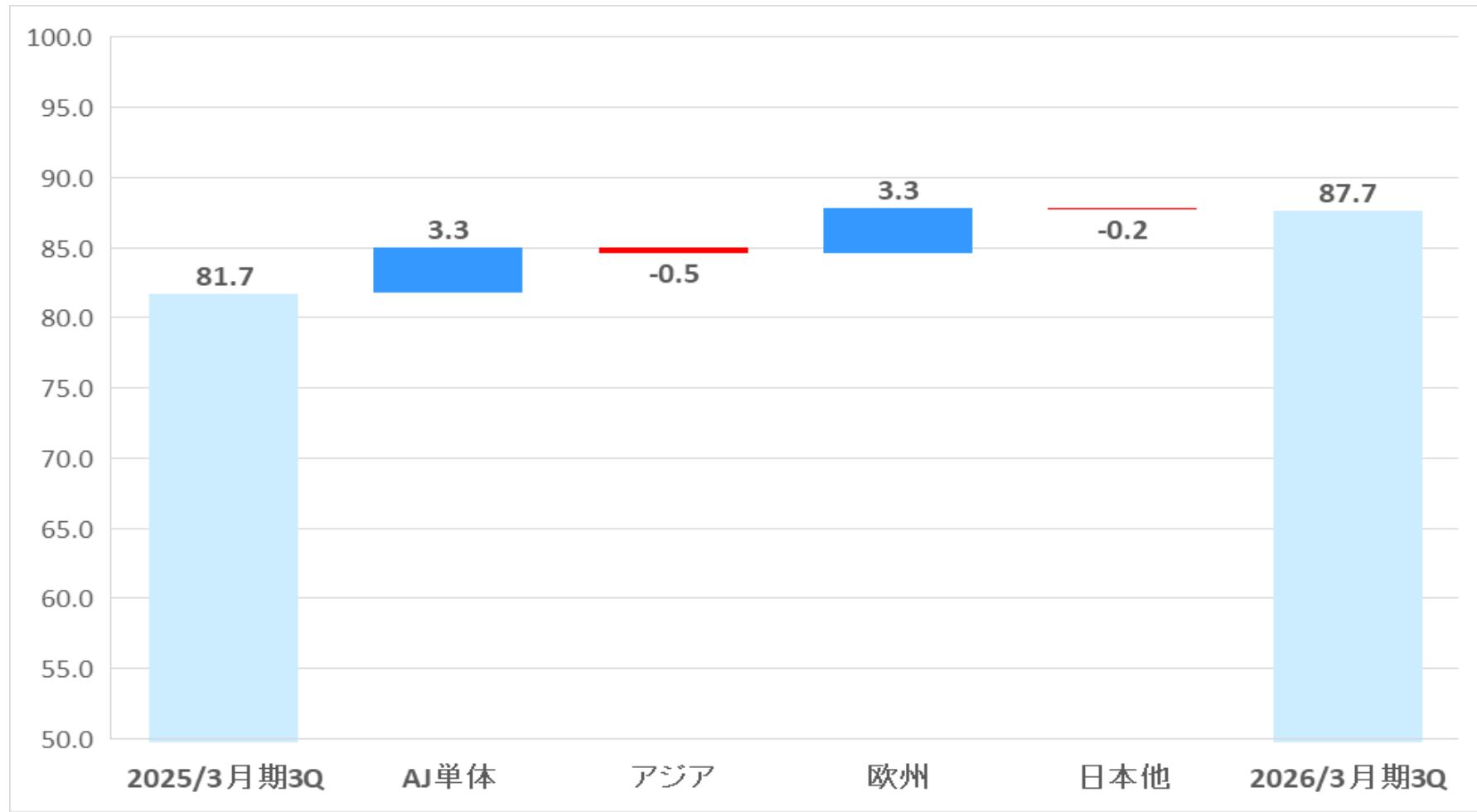
※子会社は連結調整後

(単位：億円)

	2026/3期 3Q (A)	2025/3期 3Q (B)	増 減 (A-B)	%	為替中立
アリアケジャパン	61.7	58.4	3.3	5.7%	-
子会社 計 ※	25.9	23.3	2.6	11.2%	4.9%
アジア	17.1	17.6	△ 0.5	△ 2.6%	△ 6.7%
欧 州	8.9	5.6	3.3	59.6%	45.9%
米 国	△ 0.2	0.0	△ 0.2	-	-
日 本	0.1	0.1	△ 0.0	0.0%	-
連結	87.7	81.7	5.9	7.2%	5.4%

## [グループ別] 第3四半期 営業利益（対前年比較）

(単位：億円)



## [単体] 第3四半期 決算のポイント

### □ 売上高・営業利益

増収、増益。

売上高：368.1億円（対前年+1.3% 対計画-0.7% 通期計画進捗率75.1%）

営業利益：61.7億円（対前年+5.7% 対計画-4.2% 通期計画進捗率73.2%）

営業利益率：16.8%（対前年+0.7p 対計画-0.6p）

B2B2C製品が好調、メーカー向け、外食向け製品伸長も、CVS向け製品の売上減が影響し、  
売上高、営業利益ともに前年増となるが計画を若干下回る。

### □ 経常利益・純利益

経常利益：77.7億円（対前年+14.9%） 純利益：54.0億円（対前年+14.0%）

### □ 2026年3月期計画（変更なし）

売上高：490億円 営業利益：84.3億円 営業利益率：17.2%

## [単体] 第3四半期 売上・利益の状況

### □売上高

- CVS向けが、CVSの売上低迷の影響を受け売上減（対前年 - 5.5%）
- 外食は採用企画の増加により売上増。（同 + 1.9%）
- 加工食品メーカー向けは節約志向、コメ代替需要など堅調な需要と価格改定効果で売上増（同 + 3.7%）
- B2B2C（CVS、量販、その他）は新製品採用増、販促などにより順調に売上伸長（同 + 10.5%）

### □営業利益

- 工場のVA、工程改善によるコストダウンにより原価押し上げ要因を吸収し、営業の利益改善（価格改訂、リニューアル）により対前年0.7p利益改善。
- 売上高に応じて生産高を調整したことによる固定費率増、原材料費率が計画より若干上振れしたこと、仕掛品在庫減などにより、対計画 - 0.6pとなる。
- 工場のコストダウン計画約20億円/年に対し約23億円（約114%）。  
営業の利益改善15億円/年に対し14.8億円（約97%）の実績。内、価格改定は11.7億円
- 3Q累計の販売単価は対前年 + 2.9%、数量の伸びは - 1.6%。

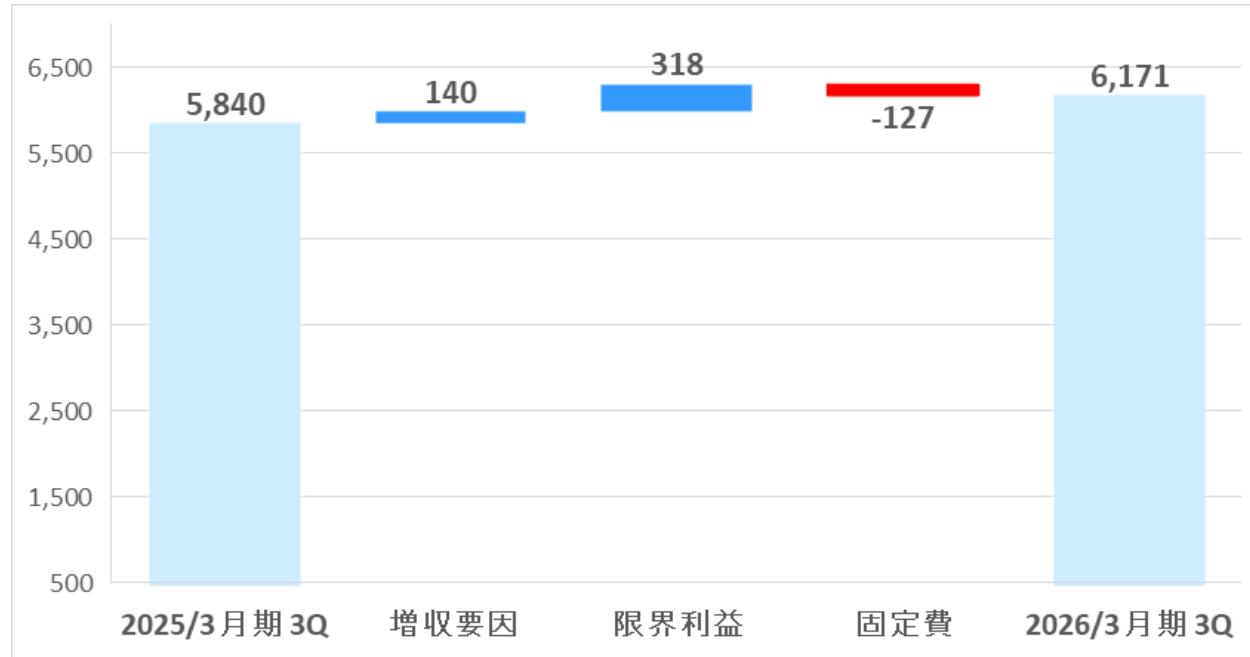
## [単体] 第3四半期 カテゴリー別売上高比率及び増減

カテゴリー	売上高比率	前年比増減
食品メーカー	19.9%	+3.7%
外食	40.1%	+1.9%
CVS・中食・スーパー	26.3%	-5.5%
B2C(B2B2C)	11.9%	+10.5%
輸出(台湾・韓国等)	1.8%	+5.7%
合計	100%	+1.3%

## [単体] 第3四半期 利益変動要因（対前年比較）

■ 営業利益 6,171百万円 前年比330百万円 (+5.7%)

(単位:百万円)



■ 経常利益 7,770百万円 前年比 +1,006百万円(+14.9%)

(単位:百万円)

増加要因	営業利益増加	330
	受取配当金他	282
デリバティブ評価損の減		156
為替差益		103
その他		135
減少要因	貸倒引当金繰入	
	合計	1006

## [単体] 2026年3月期通期の見通し

### □売上高

- ・流通向けB2B2C製品の採用、CVS向け、既存品ブラッシュアップ、B2C製品提案などにより売上回復も、計画には届かず。1%強対計画マイナス見込み。
- ・1Q対前年+2.7% 2Q同-2.0% 3Q同+3.0% 4Q同+2.5~3.5%見込み
- ・来期に向けて新規案件を取り込み中。

### □営業利益

- ・工場におけるVA、工程改善によるコストダウン、営業の利益改善（価格改定、リニューアル）は継続して進行。加えて低利益率品の価格改定を実施。
- ・営業利益率 1Q16.2% 2Q14.9% 3Q18.8%（売上増効果）
- ・想定以上の€高進行が今後の原価押し上げ懸念要因。  
一層の原材料費コストダウン、経費削減に取組む。
- ・売上高伸長が計画を下回る見込みのため、営業利益額、営業利益率ともに計画を若干下回る見込み。

## [子会社] 第3四半期 決算のポイント

### □売上高・営業利益

增收、増益。為替中立では減収、増益。

アジアの消費低迷による減収、減益を好調な欧州でカバー。

売上高：131.2億円（対前年+4.7% 対計画-0.7%）

営業利益：25.9億円（対前年+11.2% 対計画-6.6%）

営業利益率：19.8%（対前年+1.2p 対計画-1.2p）

### □各国状況

- ・中国、台湾の消費低迷により、アジアが減収、減益。
- ・欧州は、全般に好調を維持し、增收、増益。
- ・フランスは日本向けが増え、欧州向けが減少。連結調整で增收、減益。
- ・ベルギーは利益改善が進み增收、増益もわずかに営業赤字。
- ・オランダは堅調に增收、増益。営業利益率も良化。

## [子会社] 2026年3月期通期の見通し

### □売上高

- ・引き続きアジアの不調を欧州でカバーし年度計画達成を図る。
- ・中国、台湾の消費低迷は継続。売上減を新規顧客、新規製品採用でカバー。
- ・欧州は引き続き好調を維持。フランスの現地売上減を新規顧客でカバーする。
- ・日本食（ラーメン、カレー）の引き合いが強く、日系問屋、日系企業をメインに営業強化。

### □営業利益

- ・売上高同様、アジアを欧州でカバーし計画達成見込み。
- ・ベルギーの利益改善を進行。最終は計画を上回るも通年黒字には届かない見込み。
- ・オランダの好調により、欧州全体での利益改善は進む。

## [アジア] 海外グループ会社の状況

### □中国

- ・前期からの景気後退による食品業界全体の業績低迷の影響を大きく受けた。コストダウン、経費節減などで高営業利益率は維持。
- ・既存顧客の減を加工食品メーカー、外食、B2C製品の新規採用品でカバーする。
- ・今後B2C製品、韓国市場（中国系外食）への拡販進める。

### □台湾

- ・顧客の業績影響を受けた。顧客の業績は、店舗増による伸長組と品質不足、高価格などによる停滞組とに2分された。ラーメン業界は顧客内でのシェア争奪戦となり競争激化、飽和感が出てきた。
- ・コストダウン、経費節減などで高営業利益率は維持。
- ・火鍋、うどん、ファミレスなどラーメン以外の外食、加工食品メーカー向けの営業に注力する。

### □インドネシア

- ・日本向けが増え、ASEAN輸出が減。インドネシア国内は外食、メーカーとも引き合い多く好調。
- ・当社グループ（日本、台湾）、当社グループ外の売上高比率は57：43
- ・日本外食の海外進出に伴う引き合いが増加（国内、アジア、中東等）
- ・2026年より日本向けハラル製品輸出を開始（ラーメンスープ 3種）

# [トピックス] ハラル認証付ラーメンスープ（インドネシア工場）



SHOYU RAMEN (AI-9154)	
名称	スープ
原材料名	しょうゆ、食塩、チキンエキス、バーム油、香味油、砂糖、塩麹、オニオンエキス、ガーリックエキス、白こしょう、チリソース調味料／調味料(アミノ酸等)、カラメル色素、増粘剤(ゲーガム)、酸化防止剤(V.E)、(一部に小麦・大豆・鶏肉を含む)
内容量	1 kg
賞味期限	2026.12.05
LOT.No.	25120501
保存方法	高温、高湿、直射日光を避け保存してください
原産国名	インドネシア共和国
輸入者	アリアケジャパン株式会社 東京都渋谷区恵比寿南三丁目2番17号

TANTANMEN TARE (AI-9081)	
名称	スープ
原材料名	ごまペースト、ビーナッツペースト、砂糖、食塩、ごま油、チリソース調味料、しょうゆ、香味油、にんにく、野菜えびペースト、えびペースト、唐辛子／調味料(アミノ酸等)、パブリカ色素、酸化防止剤(V.E)、(一部にえび・小麦・落花生・ごま・大豆を含む)
内容量	1 kg
賞味期限	2026.12.12
LOT.No.	25121201
保存方法	高温、高湿、直射日光を避け保存してください
原産国名	インドネシア共和国
輸入者	アリアケジャパン株式会社 東京都渋谷区恵比寿南三丁目2番17号



インドネシア工場生産、ハラル認証付ラーメンスープを日本で販売。  
醤油、味噌、坦々麺の3種類。  
在日ムスリムネットワーク、インバウンド需要への対応。  
トライアルとして、2026年1月から輸入開始。

## [欧州] 海外グループ会社の状況

### □フランス

- ・日本向けの輸出が増加、一部の欧州内顧客の受注減により減収となるも、生産増による固定費吸収、ユーティリティコスト改善などにより連結前営業利益は大幅に改善した。
- ・日本向け輸出は安定継続、欧州向けは新規顧客でカバーする（採用確定済案件あり）。インダストリーはオーガニック製品の拡販を行う。（オーガニック認証所有）
- ・スプレー品の稼働（欧州、日本）が始まり、来期欧州内インダストリー向けで採用決定。
- ・UHTとセットでインフュージョンブイヨン（だしパック）の販売を推進する。（Ariake専用棚）

### □ベルギー

- ・日本向け輸出増加、欧州顧客も増加。固定費吸収、ユーティリティコスト改善などにより対前年大幅な利益改善を達成。来期は通期で黒字化見込み。
- ・日本食、特にラーメンのニーズ多く、今後の成長要因。現地生産の優位性を活かして拡販。日系問屋との関係強化を図る。（日本食は対前年16%増。過去4年で2倍に成長）
- ・UHT製品は、パリ中心に拡販中。営業強化し長期戦で対応。OEM生産も商談中。
- ・インダストリーはフランス同様にオーガニック製品を拡販（オーガニック認証所有）

### □オランダ（ヘニングセン）

- ・欧州インダストリー中心に売上好調。引き続き好調維持。

## [トピックス] 業務用NBラーメンスープ（ベルギー工場）



フランスMetoro(Cash&Carry)にて、ラーメンスープ3種類発売開始。  
味噌、醤油、豚骨、常温濃縮タイプ。スクリューコック付きアルミパウチ。  
先行者としての定着を期待。

## [トピックス] フランス国内でのB2C拡販（フランス・ベルギー）



欧州営業(パリ支店)にあらたにB2Cマネージャーを雇用。  
ベルギーのUHT製品の拡販に合わせて、フランスの小売業にAriake専用棚を設け、既存のインフュージョンブイヨン(だしパック)も同時に拡販中。

## [補足] 海外グループ会社の状況（連結調整前）

関係会社業績〔連結調整前〕

		売上高		営業利益		当期利益		設備投資		減価償却費	
		当第3四半期	前第3四半期	当第3四半期	前第3四半期	当第3四半期	前第3四半期	当第3四半期	前第3四半期	当第3四半期	前第3四半期
青島有明食品有限公司	(換算レート)	(@20. 88)	(@20. 46)								
	千元	224, 604	232, 253	45, 708	46, 730	35, 074	39, 704	1, 871	4, 510	7, 753	6, 997
	百万円	4, 690	4, 752	954	956	732	812	39	92	162	143
台灣有明食品股份有限公司	(換算レート)	(@4. 88)	(@4. 51)								
	千元	563, 756	562, 704	154, 600	159, 230	128, 916	130, 620	4, 149	116	26, 670	24, 014
	百万円	2, 751	2, 538	754	718	629	589	20	1	130	108
F. P. Natural Ingredients SAS	(換算レート)	(@174. 47)	(@159. 43)								
	千ユーロ	10, 660	8, 432	1, 512	133	1, 587	195	459	238	712	586
	百万円	1, 860	1, 344	264	21	277	31	80	38	124	93
ARIAKE EUROPE NV	(換算レート)	(@174. 47)	(@159. 43)								
	千ユーロ	17, 476	13, 953	-356	-1, 838	1, 261	-159	979	328	2, 235	2, 155
	百万円	3, 049	2, 224	-62	-293	220	-25	171	52	390	344
Henningsen Nederland BV	(換算レート)	(@174. 47)	(@159. 43)								
	千ユーロ	19, 491	17, 968	5, 380	4, 537	4, 167	3, 611	587	42	77	136
	百万円	3, 401	2, 865	939	723	727	576	100	7	13	22
PT. Ariake Europe Indonesia	(換算レート)	(@0. 0090)	(@0. 0095)								
	百万ルピア	58, 369	53, 499	4, 282	2, 933	4, 006	2, 005	1	2	6	5
	百万円	525	508	39	28	36	19	12	16	50	48

- フランス（連結調整前） 売上高 対前年+26.4% 営業利益 対前年+1037%
- ベルギー（連結調整前） 売上高 対前年+25.2% 営業利益 対前年+80.6%

## [その他] 海外グループ会社の状況

### □米国子会社の進捗

- 2024年7月1日Ariake U.S.A.,Inc.を設立。資本金1000万＄。  
東海岸バージニア州チエサピーク市に53000m<sup>2</sup>の候補地を選定。  
土地DD、FS終了。不動産DDまで完了も一旦契約解除。
- 建設費用、設備費用が想定より高騰。事業計画見直し中。

### □中国日照有明の抹消

- 2025年7月2日日照有明を抹消。  
現段階で青島有明の立ち退き要求は撤回。  
新工場建設予定地を山東省内で検討中。
- 中期3年計画2027年度（2028年3月期）まで、既存青島有明内の設備増強で対応可。

# 2026年3月期計画

※子会社は連結調整後

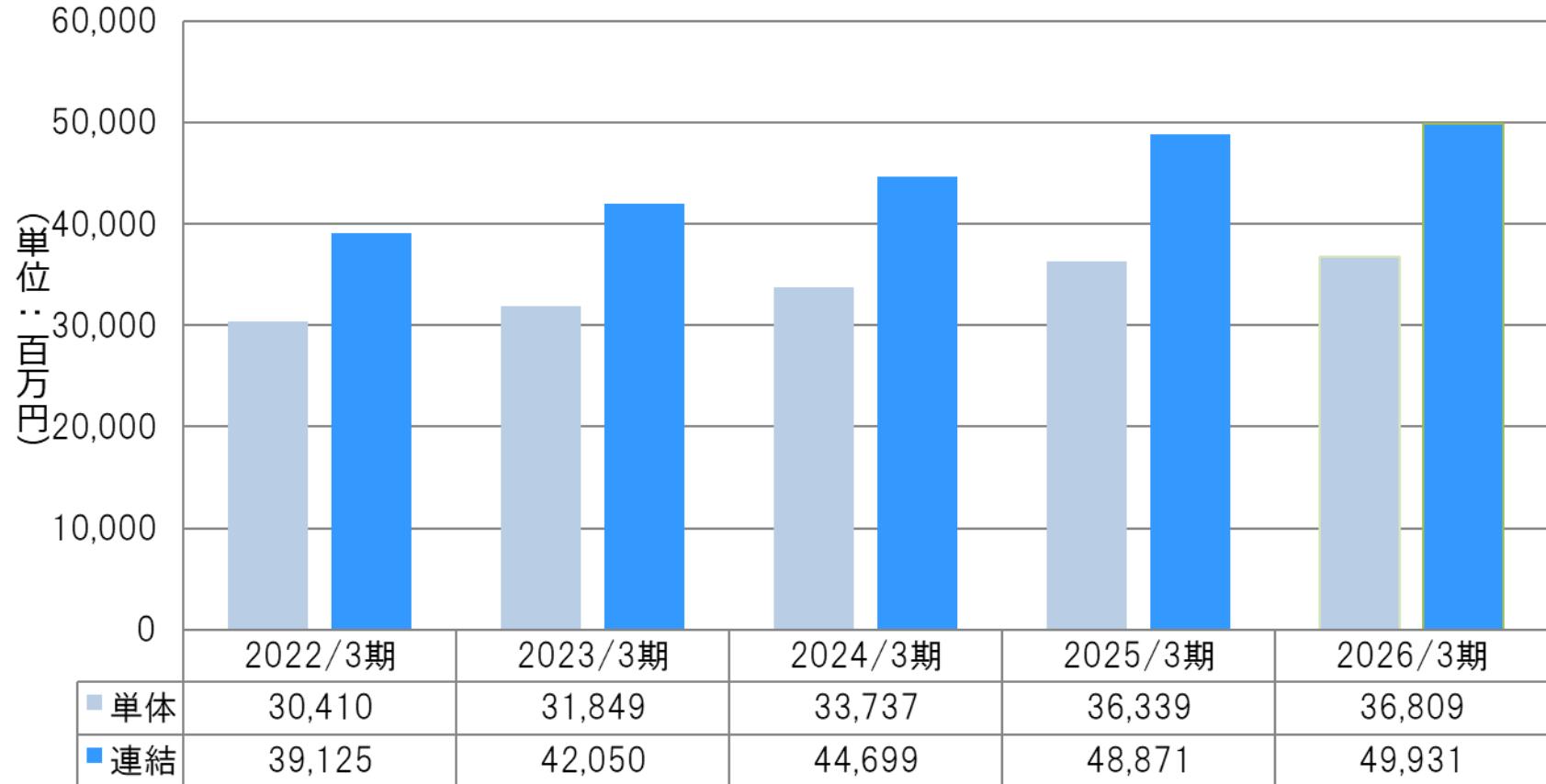
(単位：億円)

	売上高			営業利益		
	2026/3期 計画 (A)	2025/3期 実績 (B)	増減 A-B	2026/3期 計画 (A)	2025/3期 実績 (B)	増減 A-B
アリアケジャパン	490	475	15	84	78	6
子会社 計 ※	181	179	2	38	33	4
アジア	106	103	3	27	25	2
欧洲	73	73	0	11	8	3
日本	3	3	0	0	0	0
連結	671	654	17	122	111	11

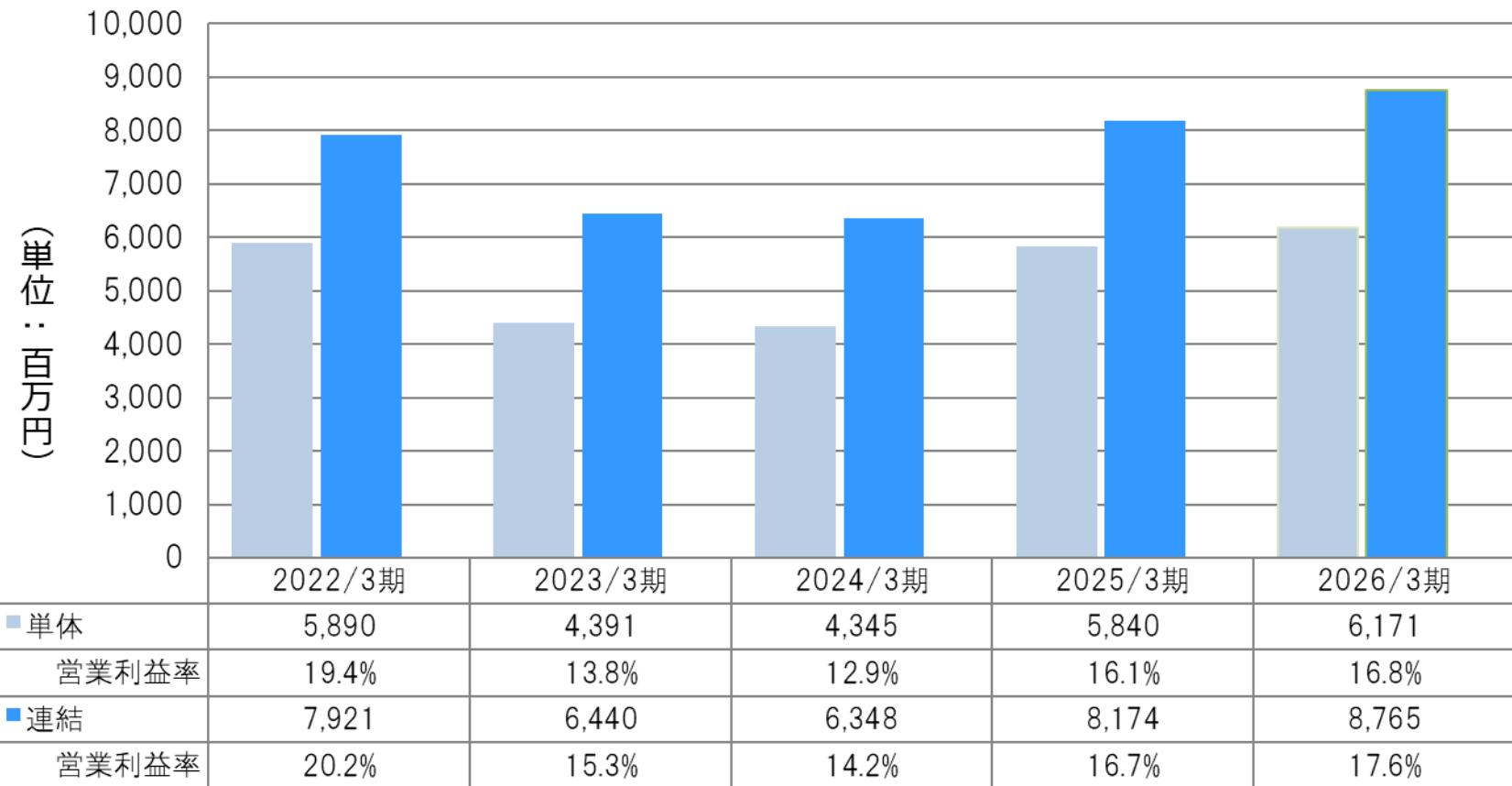
為替レート 2025年3月末 2024年12月末

EUR	162.08	164.92	△ 2.84
人民元	20.59	21.67	△ 1.08
台湾ドル	4.51	4.84	△ 0.33
ルピア	0.009	0.010	△ 0.001

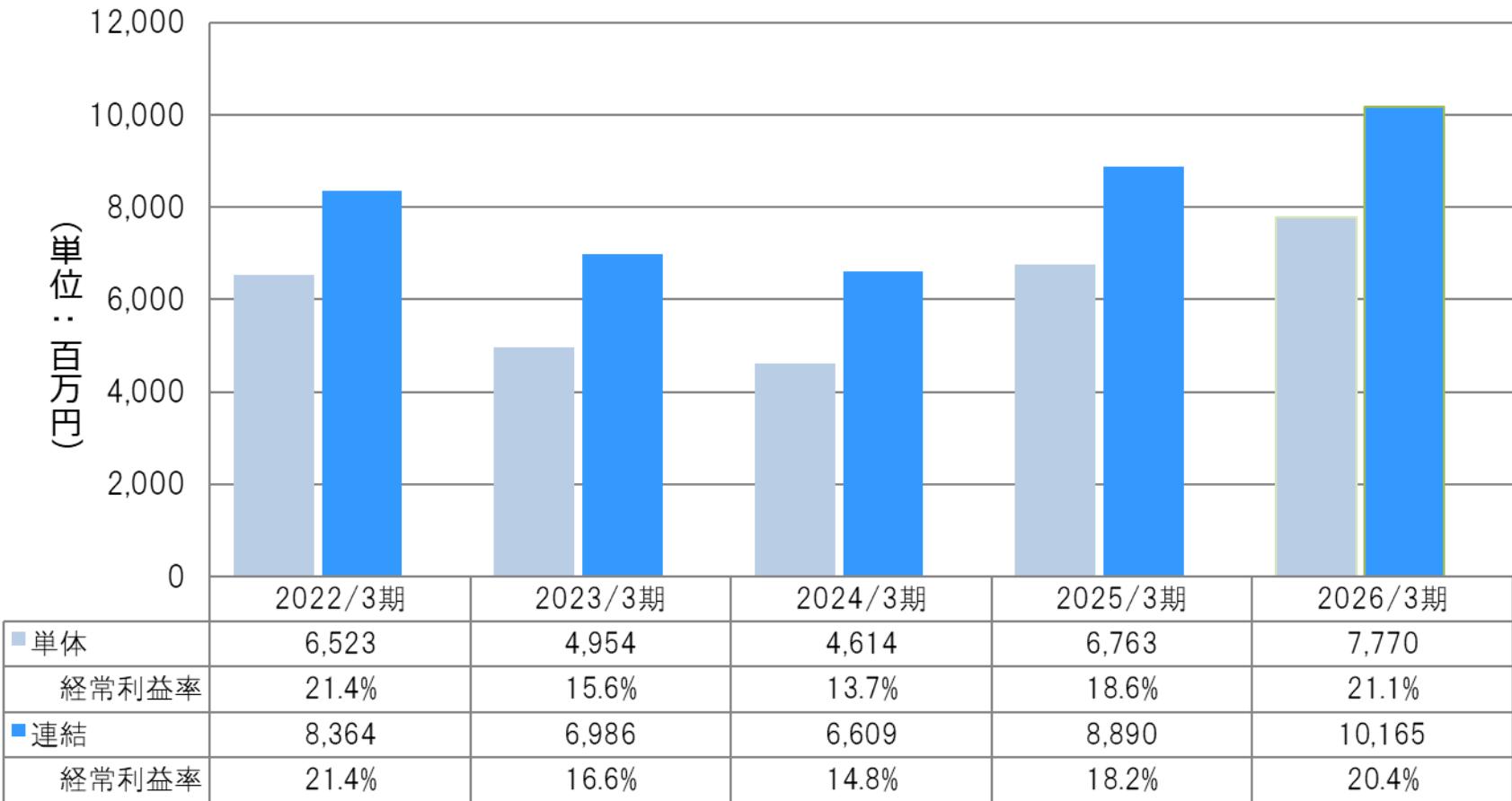
## 第3四半期 売上高の推移（単体・連結）



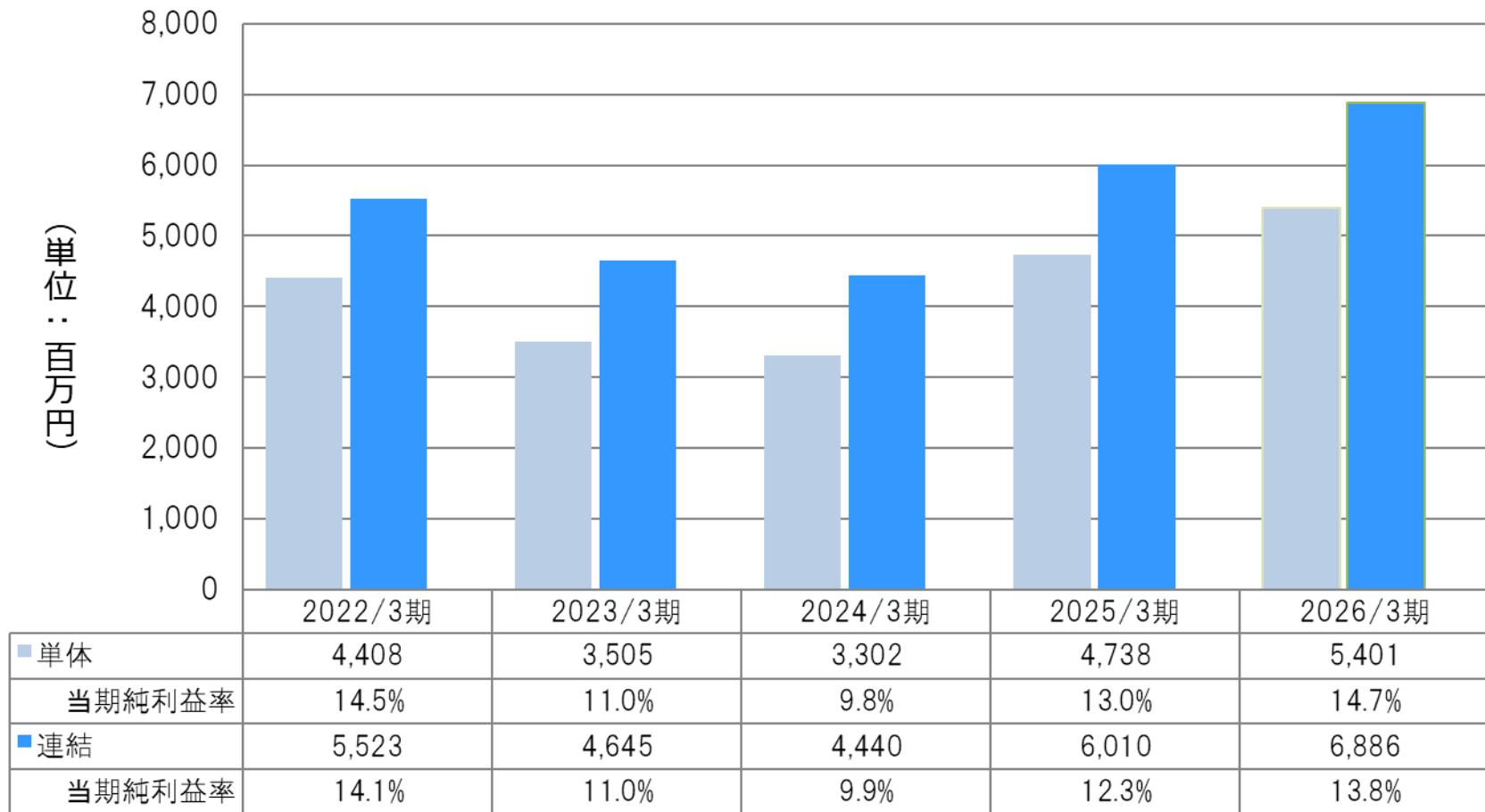
## 第3四半期 営業利益の推移（単体・連結）



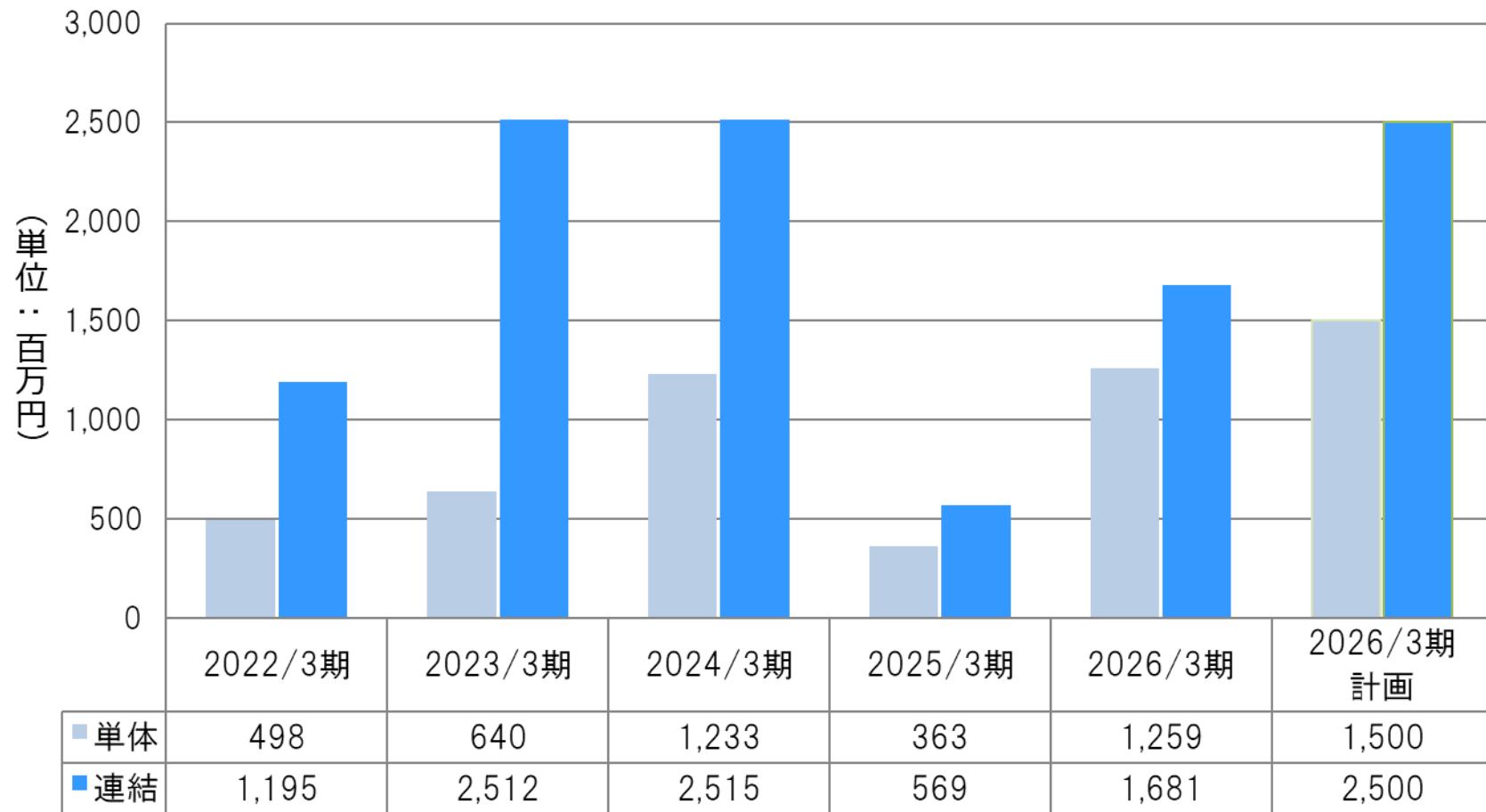
## 第3四半期 経常利益の推移（単体・連結）



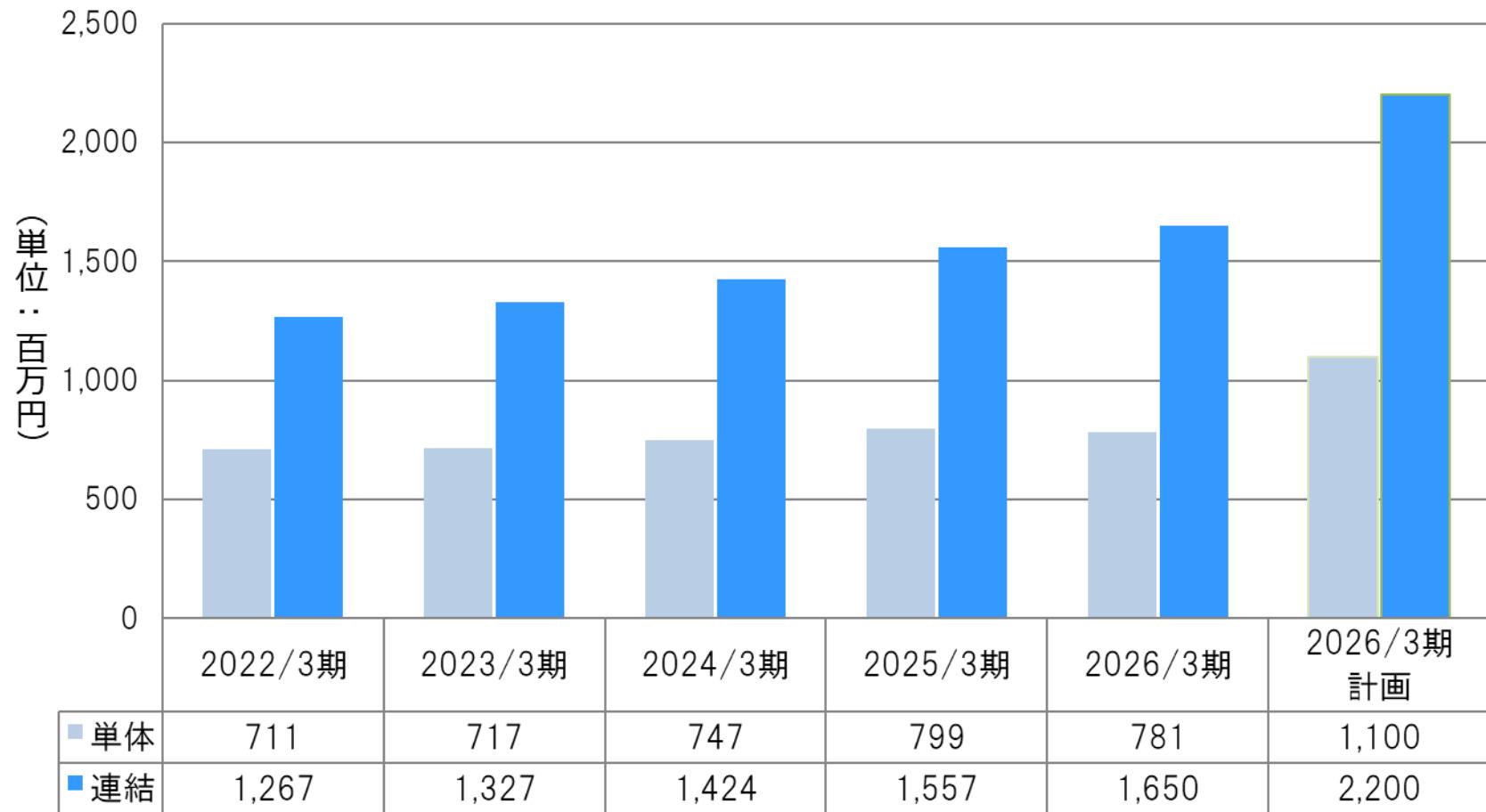
## 第3四半期 親会社株主に帰属する 当期純利益の推移（単体・連結）



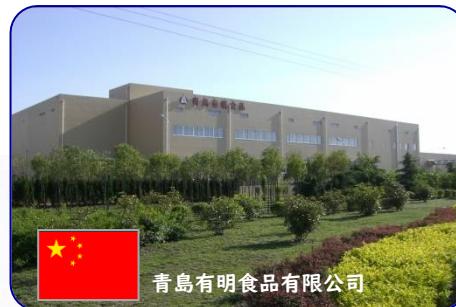
## 第3四半期 設備投資の推移（連結・単体）



## 第2四半期 減価償却費の推移（連結・単体）



# アリアケグループ「世界7極体制」



- ・ 本資料は、会社内容をご理解いただくための資料であり、投資勧誘を目的とするものではありません。
- ・ 本資料に記載されている業績予想（計画）及び、将来の予測につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものです。これには為替や金利、国際情勢、市場動向や経済状況、競争環境、生産能力、将来における売上、収益性、設備投資、その他の財務指標の状況、法的、政治的、または規制上の状況、疫病や健康問題の影響など、さまざまな不確定要素が内在しており、実際の業績は異なる場合があります。当社はこうした情報の正確性または完全性を保証しません。